

小山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	福祉住環境	
科目基礎情報							
科目番号		0044		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		建築学科		対象学年		3	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		東京商工会議所：福祉住環境コーディネーター検定試験公式テキスト2級					
担当教員		崔 熙元					
到達目標							
1.福祉住環境の考え方を理解しその必要性を説明できる 2.福祉住環境関連制度と各職種の役割について説明できる 3.高齢者や障害者のニーズを理解し、基本的な環境整備方法について説明できる 4.福祉用具の基礎的知識を具体的に説明できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		福祉住環境の考え方を明確に理解し説明できる		福祉住環境の考え方について説明できる		福祉住環境の考え方について説明できない	
評価項目2		福祉住環境関連制度と各職種の役割を明確に理解し説明できる		福祉住環境関連制度と各職種の役割について説明できる		福祉住環境関連制度と各職種の役割について説明できない	
評価項目3		高齢者や障害者のニーズを明確に理解し、基本的な環境整備方法について説明できる		高齢者や障害者のための基本的な環境整備方法について説明できる		高齢者や障害者のための基本的な環境整備方法について説明できない	
評価項目4		福祉用具の基礎的知識を具体的に説明できる		福祉用具の基礎的知識をある程度説明できる		福祉用具の基礎的知識を説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ④							
教育方法等							
概要		建築計画の知識をもとに、高齢者や障害者のための福祉住環境整備の方法を学ぶ。					
授業の進め方・方法		講義を主体としながら、適宜演習を行う。					
注意点		予習および復習をしっかりとすること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	福祉住環境の考え方		福祉住環境についての概説		
		2週	福祉住環境における基本的な考え方Ⅰ		ノーマライゼーションとユニバーサルデザインについて理解できる		
		3週	福祉住環境における基本的な考え方Ⅱ		リハビリテーションと自立について理解できる		
		4週	高齢者福祉関連制度について		高齢者福祉関連制度について理解できる		
		5週	福祉住環境整備のプロセス		福祉住環境整備のプロセスについて理解できる		
		6週	福祉住環境整備の基本的技術Ⅰ		福祉住環境整備の基本技術および実践に伴う知識Ⅰ理解できる		
		7週	福祉住環境整備の基本的技術Ⅱ		福祉住環境整備の基本技術および実践に伴う知識Ⅱ理解できる		
		8週	中間テスト		まとめ		
	2ndQ	9週	高齢者の特徴と福祉住環境整備における配慮点		高齢者の身体・心理的特徴と福祉住環境における配慮点について理解できる		
		10週	高齢者に多い疾病別にみた福祉住環境整備Ⅰ		高齢者に多い疾病と福祉住環境整備の方法について理解できる		
		11週	高齢者に多い疾病別にみた福祉住環境整備Ⅱ		高齢者に多い疾病と福祉住環境整備の方法について理解できる		
		12週	障害のとらえ方		障害のとらえ方について理解できる		
		13週	障害別にみた福祉住環境整備Ⅰ		障害別にみた福祉住環境整備の方法について理解できる		
		14週	障害別にみた福祉住環境整備Ⅱ		障害別にみた福祉住環境整備の方法について理解できる		
		15週	生活行為別福祉住環境性の手法		生活行為別福祉住環境性の手法について理解できる		
		16週	定期試験		まとめ		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	モジュールについて説明できる。		3	
				建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。		3	
				居住系施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。		3	
				教育や福祉系の施設(例えば、小学校、保育所、幼稚園、中・高・大学など)あるいは類似施設の計画について説明できる。		3	

				医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーディトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について説明できる。	3		前2
				建築計画・設計の手法一般について説明できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	0	30	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0